

オンラインで**全国**の参加者と意見交換ができます！

| 講座            | セミナー内容                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 <b>1</b> 講座 | <p><b>“今、災害が発生しても対応できますか？”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本における災害の激甚化・頻発化</li> <li>「防災」に取り組む意味・目的</li> <li>企業に求められる災害対応</li> </ul>  |
| 第 <b>2</b> 講座 | <p><b>防災備蓄品導入企業の取組解説</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実態として“使えない備蓄”になっていた課題とは！？</li> <li>防災備蓄品の導入前後における社員の声の変化</li> <li>重大な経営リスクとして最悪のシナリオを検討する重要性</li> </ul>                                                            |
| 第 <b>3</b> 講座 | <p><b>防災に取り組む意義・目的 “企業に求められる災害対応”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>備蓄品検討における4つのポイント</li> <li>入替に伴う煩雑な「作業」と「コスト」を削減！？</li> <li>新発想！地域貢献のための備蓄品とは！？</li> </ul>                                                             |
| 第 <b>4</b> 講座 | <p><b>本セミナーのメインパート！</b></p> <p><b>悩みや課題、実体験を共有！情報交換会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自社の課題を整理できる！</li> <li>他社の取組事例が聞ける！</li> <li>その場で改善のアイデアを得ることができる！</li> </ul>                                                       |

#### 開催要項

日時・会場

2026年**8月4日(火)** 14:00～16:00

Zoom ID : 815 8109 4825 / PW : tnp0804

#### お申込み方法



【QRコードからのお申込み】

右記QRコードからお申込みください。

東京海上日動パートナーズ株式会社

#### 【個人情報の利用目的】

お客様の個人情報は、東京海上グループ各社および弊社代理店、東京海上レナエンス株式会社による運営管理、各種情報提供を目的に使用します。詳細については、以下URLをご覧ください。  
 個人情報のお取扱い：東京海上日動火災保険株式会社プライバシーポリシー <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/about/policy/kojin.html>  
 東京海上レナエンス株式会社プライバシーポリシー <https://www.tokiomarine-resilience.co.jp/privacy-policy/index.html>

中小企業の経営者・総務責任者向け

# 経営戦略としての 防災対策

## 備蓄品革命



山佐ホールディングス株式会社 グループ経営統括本部 副社長 山本 紀久 氏

2025年4月までヤマサハウスにおいて住宅本部長を務め、経営企画部門、商品開発部門、FP提案などを担うFA事業部の統括を担当。また、BCP事務局長として、社内の災害対応体制の整備にも携わる。現在は、山佐ホールディングスグループの経営統括本部長として、グループ全体の経営や事業戦略の推進に従事。

「No.1の自覚と地域の価値探求」の姿勢を持ち、  
それぞれが「継続的な自己革新」に取り組むこと。

予告動画は  
こちらから  
ご覧ください





## ヤマサハウス株式会社のお取り組み

### 会社概要

1948年に山佐産業株式会社として設立された。2015年に組織変革・再編を行い、ホールディングス体制へとなる。鹿児島県鹿児島市に本社を構える。「すべての人間は豊かでなければならない」という創業者佐々木亀蔵の考えから、「郷土が誇る企業をつくる」を創業理念とし、木材業を原点として建設、家具、公共工事など事業を展開。「鹿児島を、鹿児島に関わる人たちにとって、もっと、ずっと住みたい場所にする」という企業使命観を掲げ、地域の課題に向き合い続けている。



### ■ 鹿児島に根ざし、暮らしの安心を届ける創業77年のトップメーカー

ヤマサハウスは、1948年に木材業として創業し、現在は鹿児島県内で1万棟以上の住宅供給実績を誇るトップ住宅メーカー。「郷土が誇る企業をつくる」という理念のもと、「いざという時にも、日常を守る家」をつくる。

### ■ 災害多発地域で痛感した「使える備蓄」への課題

自然災害を通して学んだ経験から、BCP（事業継続計画）への意識が非常に高く、「建てて終わりではない」という責任感を強く持つ。しかし、複数拠点や多様な職種に合わせた備蓄の配置、旧倉庫の物理的制約、既存備蓄品の老朽化と分散管理が困難で、「使える備蓄」になっていないという実態があった。

### ■ あるけど使えない備蓄からの脱却！導入を決めた理由

従来の備蓄品は「あるにはあるが使えない」状態に強い問題意識を持ったことがプロジェクトの起点。部門横断チームが組成され、市販品リサーチを通じて東京海上日動の商品を知ること。長年の信頼関係があり、実務視点での提案を受け、全社導入を決定。

### ■ 課題解決と安心を両立！備蓄品がもたらした効果と社員の声

「ユニット1DAYレスキュー」と「BOUSAI BLOCK」の導入は、防災備蓄の課題を解決。A4サイズで個人管理が可能な「ユニット1DAYレスキュー」や、社用車に搭載できる「BOUSAI BLOCK」により、実効性と管理のしやすさが向上。社員からは「想像以上に実用的で安心」との声が寄せられ、防災意識の向上にも繋がっている。

### ■ 住宅から持続可能な暮らしを提案するヤマサハウスの未来

住宅を起点とした「暮らしのソリューション提供企業」への進化を目指し、リフォーム・リノベーション、脱炭素、省エネ、再生可能エネルギー活用など、「持続可能な暮らし」の提案を推進。社員の安全を守り、地域に信頼を届ける「備える文化」を社会に還元することで、社会貢献と顧客満足度向上を図る。



## 本セミナーの対象者

### こんなお悩みはありませんか？

- どこに、何を、どれくらい防災対策をすれば良いか分からない
- 災害リスクの予測や、自社にとって適切な対策を立てるための情報が不足している
- BCP(事業継続計画)は策定しているものの、活用が不十分
- 災害発生時の社内の対応に不安がある
- 社員の移動中や外出先での被災に備えたい
- 地域防災への貢献方法が分からない
- 社員の防災意識が低い

## ユニット1Dayレスキュー

1日1人分の備蓄品をまとめたボックス

期限のある内容物のみを入れ替えることが可能なため、入れ替え時のコストを削減  
A4サイズのためデスクやロッカーに収納可能で、保管スペースと緊急時の配付の不安を解決



### 特長1 入れ替え時のコスト削減

期限のある外側(OUTER BOX)だけを入れ替え、期限のない小箱(INNER BOX)を継続使用することで、コストを約2/3に抑えることができます



### 特長2 保管スペース削減&すぐに利用可能

被災直後でも配布を待つことなく即利用可能  
配布や保管・管理のロード削減が可能  
保管用のスペースの確保が不要・削減される場所を忘れてしまうリスクも低減



### 特長3 品目選定の悩みを解消する3つのバリエーション

INNER BOXに選べる3つのセットをご用意  
ベースの「基本」に加え、帰宅支援用の「帰宅」、滞在支援用の「宿泊」を選択可能

|              |                            |
|--------------|----------------------------|
| INNER BOX 基本 | 必要なものを詰め込んだベーシックタイプ        |
| INNER BOX 宿泊 | 非常用トイレを増量し、衛生用品を加えた宿泊タイプ   |
| INNER BOX 帰宅 | ボンチョやホイッスル、スマホ充電器を備えた帰宅タイプ |

## 防災備蓄例

### ■ 車載用防災セット BOUSAI BLOCK for CAR

-20℃～80℃の広い温度範囲での保管に対応しているため、車内でも安心して保管が可能、車での被災から避難所等への移動を想定し厳選されたラインナップ。

【主な内容物】

WAYボンチョ×1、反射材付きグローブ×1、緊急用ホイッスル×1、使い捨て簡易ライト×1、7年保存水×1、3M社製防塵マスク×1、伝言カード&防災ペン×1



### ■ ユニット1Dayレスキュー 帰宅セット

災害発生時に帰宅を希望される方向けに、災害用スマホ充電器や携帯用トイレ等、必要な備蓄品をまとめたセット。同封のナップザックにいれることで持ち運びにも対応できる。

【主な内容物】

アルファ化米×1食、ペーパー歯磨き×2枚、携帯型セーフティライト(12時間発光)×1 等

